

新しい都市づくりを実現するためのよって立つべき共通の 思い、価値観を明確にするため「5つの原則」を考えました。

目標系 **原則1** 一人ひとりの暮らしの質の向上を支えます

一人ひとりがそれぞれの価値観やライフスタイルに応じて豊かな都市生活を送ることができる都市空間をつくります。

背景・必要性

- 物のゆたかさから暮らしの質の向上を求める価値観の高まり
- 少子高齢化の一層の進展などの社会背景の変化に、都市づくりの側面からも対応していくことが必要
- さまざまな人々の価値観やライフスタイルに応え得る都市であることは、札幌の魅力を発信し、交流を活発化することにつながる

原則の内容

1-1 個性的で活力のある地域づくり

- 都市が利便性を保ち、生活を支える基盤として機能するために、地域特性に応じた適正な密度で人が住み続け、コミュニティ活動などが活発に展開していること
- 地域の住民が愛着と誇りを持てる、個性的で、魅力ある街並みが形成されていること

1-2 多様な住まい方の選択肢の確保

- さまざまなライフスタイルを支えるとともに、家族構成の変化などに応じた住み替えも可能となるよう、郊外のゆとりある戸建住宅や利便性の高い地域での集合住宅など、多様な住まいが確保されていること

1-3 身近な利便性と快適性の確保

- 徒歩を前提とした距離圏で、買い物利便機能など基本的な都市サービス機能が享受できること
- 地域の公園や散策路など、ゆたかな時間を過ごせる空間が身近に確保されていること

1-4 だれもが活動しやすい都市空間の実現

- だれもが利用しやすく、利便性の高い公共交通機関が、交通体系の機軸をなしていること
- 交通施設や公共的建築物など、多くの人々が利用する空間のバリアフリー化が図られていること

1-5 暮らしの安全と安心の確保

- 都市施設や建築物などが、自然災害や火災などに対して強いものであること
- 延焼防止機能を持ち、避難や救助活動の場ともなる道路や公園などのオープンスペースが適切に確保されていること
- 交差点や公園などでの見通しの確保など、事故や犯罪の未然防止のための配慮がなされていること